

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 29 | 地域資源の活用ができていない。地域資源の把握ができていないため地域の行事への参加が実施されていない。 | 小学校の運動会やお祭りに参加する。 | 地域の方に情報を得て、積極的に運動会や盆踊りに参加できるよう取り組んで行く。 | 4ヶ月 |
| 2 | 5 | 事業所の実情やサービスの取り組みを積極的に伝える機会をもたず、市町村やボランティア協会等と連携がとれていない。 | ボランティアの訪問を依頼し交流を図る。 | 月に一回くらいで催物をして頂ける方を探す。 | 6ヶ月 |
| 3 | 14 | 同業者、他のグループホームとの交流が少ない。 | 他のグループホームとの交流を深め、職員の資質を高め、よろよいサービスの実施に取り組む。 | 毎月(季節毎)のホームの催物企画に参加を呼びかけたり訪問したり、意見交換の場をもつ。 | 6ヶ月 |
| 4 | 49 | 戸外への外出支援に努めているが、普段は行けない場所への外出を楽しむ事ができない。 | 春と秋にドライブを兼ねて、疲れない距離へ全員で外出を楽しむ機会をつくる。 | ボランティアの応援を要請し、法人の職員、車の協力も得て取り組み実施する。 | 6ヶ月 |
| 5 | 6 | 身体拘束をしないケア実践は正しく理解しながら努めているが離室が頻繁な症状の利用者が多く生命に関わる。玄関や門の施錠は避け難く、鍵をかけた状況にある。 | 利用者の安全が確保され、かつ利用者にとって、へい害にならないことを基本に施錠の運用を模索する。 | ①運営推進会議での検討を継続し、地域、行政、家族など多くの方の意見を交え、方向性をさぐる。 ②検討会議での結果をとりまとめ行政との話し合いの場をもち、実践方法を具体化する。 | 12ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。